



あいち LD 親の会 かたつむり

あいち LD 親の会かたつむり
会報 248号
2024年5月26日
発行責任者：牛丸基樹
info@katatumuri-aichi.org

かたつむり 第41回定期総会 開かれました

4月21日(日)にあいちLD親の会かたつむりの第41回総会がウィルあいち大会議室を会場にして開かれました。冒頭に牛丸代表から開会の挨拶に続き、活動と決算の報告・新年度の計画と予算の提案を行い採決と議事を進めました。全ての議案が承認されました。

新しい役員も選出されました。再任が10人と新任が2人、それと会計監査1人が再任です。

三役は再任です。

代表 牛丸基樹

副代表 多久島睦美

事務局長 菊田佳世子

また、今総会では会則の一部改訂を行いました。
会則と運営実態に齟齬がある部分を改訂しました。

今年度1年間よろしくお願いいたします。



(多久島・菊田・牛丸)

(昨年のLD学会で)

新年度スタートにあたって

総会に参加された皆さんお疲れ様でした。

2023年度もたくさんの活動を続けていくことができました。会員の皆さんの参加と協力、そしてかたつむりを応援してくださる先生方や諸機関の皆様の支援と協力によるものです。改めて感謝申し上げます。

今年度も引き続き代表を務めさせていただきます。私的なことですが私ももう若くはなく、10年近く前から次の世代への引き継ぎを模索し、さまざまなことに取り組んできました。幸いかたつむりの活動全体としては企画内容など前進させることができきていますが、この次世代への引き継ぎ継承については目にみえる成果は生まれていません。引き続き組織的中心課題として位置付けていきますのでご協力お願いいたします。

会員は昨年度少しではありますが増加しました。全国的に親の会など厳しい傾向にある中では嬉しいことです。しかし本来必要と思われる方のほんの一部しか会員ではありません。親の会という仲間がいることを知ってもらうこと、そしてかたつむりがあることを知った方に入会していただくには、親の会ならではの価値をどう伝えていくのか、それをどう理解して感じてもらうかが鍵だと考えています。そのために一般でいう「広報」にも力を入れていきたいと思っております。

年間の活動の進め方は昨年と基本は変わりません。「おしゃべり会」をはじめこれまでも大切にしてきたことをより工夫して進めながら新しいことにもチャレンジしていくこととなります。勉強会も引き続き多角的に企画して行きます。予算も単年度では赤字となっても活動を積極的に展開していくための必要なこととして計画しました。

会員の皆さんの参加をお願いいたします。

最後に先生方や諸機関の皆さんに引き続きご指導ご協力をお願いしまして新年度開始の挨拶とさせていただきます。

あいちLD親の会かたつむり 代表 牛丸基樹

<テーマ別分散交流会 報告>

総会終了後は、例年は世代別に分かれての交流会ですが、今年は9つのテーマに分かれてテーマ別分散交流会を行いました。全体に世代を超えた交流ができたこと、先輩の経験やお話が聞けたことは有意義だったと思います。どのグループも時間が足りないくらいに、たくさんのお話を話し合うことができました。

【恋愛・結婚】 8名

そのうちの4名のお子さんは、そろそろ彼氏・彼女が欲しくなってきた年代。なかなか出会うチャンスがなく、どういう場所で知り合うのか？興味津々でした。その他の4名のお子さんは既に結婚されている年代でした。子どもがいる人もいて、結婚生活、子育てにどこまで踏み込んでいいのか？全くのサポートなしではやっていけないわが子をどこまで介入してサポートしていけばよいのか？悩みは尽きません。

結婚をする時に障害の特性をきちんと伝えるべきか否か？結婚相手には伝えたが、結婚相手の両親には伝えるべきなのか？の話題には皆 強い興味と関心を持っていました。子どもが何歳になろうと常に心配なこと、不安なことが湧いてきます。そんな時、自分の悩んでいる思いを隠すことなく相談でき、頼りになる先輩方の話を聴くことで、自分の子の将来に見通しを持って考えることができる機会となりました。

【不登校】 4名

今まさに直面している悩みや迷いでいっぱいのお話を聴きして、40代の保護者が当時を思い返しながら気持ちを語り合いました。新しい学級や友人に慣れることに時間がかかる、書字や課題、提出物など苦手なことにぶつかる気持が沈み不安定になるという本人に接し、保護者として苦しむ我が子にどう手を差し伸べるか、考えを出し合いました。地域や学校によって支援の仕方に差はあるものの、コーディネーターやカウンセラー、ケースワーカーなどに積極的に相談などを行い、いろいろな制度・サービスを活用していきましょうと話しました。

【就労】 4名

数回の転職後に現在はB型就労支援施設などで働いているお子さんをお持ちの方からは「今は親が元気なので子どもの生活の援助ができるけど、親も老いてくるので早く定職に就き自立して欲しい願いがある。しかし、現状は様々な理由から苦手意識があり就労に消極的な姿が見られる。」というお話に、「親として焦る気持ちもあるけど、まずは子ども自身の気持ちの安定を優先させ、できる事を探して自己肯定感が高まるサポートをすることでありのままの自分に自信がつけば自分の特徴を考えて就労に前向きになるのではないか。」「働いて誰かの役に立ち嬉しかった、賃金を貰って好きなものが買えたなど働いてよかったという経験が増えると意欲に繋がっていくのではないか。」といった話し合いをしました。そのためにも、信頼できる事業所やスタッフの協力も必要です。見学や体験で情報収集しながら、子どもと一緒に安心して働ける場所を探すこと、本人の気持ちに寄り添いながら、周りの環境を整えて少しずつ就労する意欲を見出せるよう、親としてできる支援を考えていきたいです。

【女の子】 5人

異性との付き合い方や友達とのやり取り、自分の身体のコントロールについて盛りだくさんで話しました。

性教育について家庭で取り組んでいることとして、「性」についてのマンガ本をさりげなく部屋やトイレに置いておくことで、子どもが手に取って学ぶことが出来ているというお話がありました。また女性ホルモンの影響や感覚の過敏さからくるダブル不調についても話し合うことが出来ました。

本人はすごく友達がほしいけれども、他の女の子達のペースにうまく入れないことで自宅でのお母さんとのエピソードなどいろいろと話しました。

【読み書き困難】 7名

小学校5年生の親からは「入学早々、コロナ禍で休校になり、学校で文字を教えてもらえないまま、宿題のプリントをしていた」とのお話があり、コロナ禍の影響の大きさを改めて痛感しました。高校生のお父さんから、受験の体験談を詳しく教えてもらったり、合理的配慮や中学校進学、先生への伝え方等について話し合いました。「子どもが『アサヒキャンプで、友達の作り方や交渉の仕方を学んだ』と言って、実際に先生や友達に『こうして欲しい』と言えるようになった」というお話もあり、子どものどんな力を育むのかというお話もできて有意義な時間になりました。

【大学生】 3名

LDのため某私立大学に合理的配慮の提供をお願いしたところ、「がんばればできる」という言葉をかえされたり、ノート持込可の試験にもかかわらずノート代替のタブレットが持込不可とされたり、障害学生支援の担当部局は関与しているものの、理解の乏しい教員がいる実態が語られました。こうした大学の対応は、「あなたを受け入れない」というメッセージとしてその子どもに伝わり、大学＝社会からの疎外感に苦しんでいるとのこと。

今年度から私立学校でも合理的配慮の提供が義務化されましたが、大学によっては、それ以前の問題の「障害理解」でつまづいているようです。

【金銭管理】 12名

共通の悩みとして出されたのは、借金を抱えるまではしなくても有るお金の総てを使ってしまうこと、自宅の管理・維持費用や食費等も使い込んでしまうこと、資格商法等で容易に騙されてしまうなどでした。

その上で一般的なクーリングオフ以外に発達障害を理由として更なる守る手立てが無いだろうか、成年後見制度の活用についてなど話が及びました。そして結局は、発達障害の本人が困らないことには先に進まない。どのようにして自覚させていったら良いかが課題として浮かび上がり、やはり困ったときに「助けて」と言える仲間、相談できる他人がいることが肝要である、という話になりました。

【親亡き後】 7名

子どもが20～30歳代で、自分が今親の介護をしているので将来子どもはどうなるのかと不安を抱えておられる方が多くありました。少しずつ自分の時間を確保して「巣立ちの会」にも参加したいということでした。他の場所では話せないこともかたつむりでは何でも話せるとたくさんおしゃべりしました。

【問題行動の解決】 3名

「小学校までは合理的配慮を受けうまく学校生活を送ってきて、中学は普通級を本人が選んだ為に学校に合理的配慮をお願いしましたが、一部受け入れはあったが担任とうまく連携できませんでした。そのため家で子どもが混乱して暴れるようになりました。いろんなところに相談して今は落ち着いたが、私自身がトラウマになってしまいました。」というお話を伺いました。高校進学先は本人が決め通っているとの事で、一安心ですね！と伝えました。



★ 各グループでの話し合いの中から、かたつむりでの活動へのヒントや企画要望も出てきています。すでに勉強会はいくつか企画しています。これからもできるところから企画していきます。参加して話し合い、学びましょう。

総会記念講演会（繁昌成明 先生）に多数が参加

午後は、「トマニ教室 40 年の歩みから～発達障害のある子のあゆみ ～各時期で大切なことと将来の展望」と題して繁昌成明 先生（心理療法研究所トマニ・臨床心理士）にご講演していただきました。

会場いっぱいの 150 名の参加者で、実践に裏付けられた具体的なお話をたくさん聞き、多くのことを学ぶことができました。「もっと早く先生に出会っていたかった」という感想もありましたが、皆さん前向きにこれからも頑張っていこうと感じていただけた親への励ましの内容でありました。ありがとうございました。



（人形を使った会話の実践体験⇒）

能登半島地震への募金を呼びかけました。

30,976 円 集まり全額を送りました。

総会と講演会では、1 月 1 日に発生した能登半島地震への支援募金も呼びかけました。障害者のために使って欲しいことから一昨年の映画会でつながりのある「きょうされん」の募金に取り組みました。30,976 円もの志が集まりました。ありがとうございます。全額を、当日「きょうされん自然災害支援基金」に振り込みました。

5 月 12 日に能登半島地震での、JDF（日本障害フォーラム）の枠組みで「能登半島地震支援センター」が七尾市に開設され支援活動がスタートしました。

3～5 人程度のスタッフが交代で常駐し、障害者のニーズを把握したり、事業所へ応援に入って利用者や職員を支援したりなどします。

部屋の片付けを手伝うほか、食料などの物資を届けます。また、車を運転することができない障害者に対しては、病院の送り迎えや、自宅から出た災害廃棄物の運搬などを支援します。把握したニーズを県や国への要望につなげます。



【発達障害ナビポータル】 を紹介します。 <https://hattatsu.go.jp/>

国立の機関が運営している、発達障害に関する情報サイトです。

本人家族向けメニューと支援者向けメニューがあります。さまざまな情報が掲載され動画の視聴などもできます。



発達障害ナビポータル

<https://hattatsu.go.jp/>



発達障害ナビポータルは、国が提供する発達障害に特化したポータルサイトとして、令和 3 年に開設しました（令和 5 年 4 月リニューアル）。発達障害のあるご本人・ご家族に向けた情報と、発達障害児者支援に関わる支援機関の方々に向けた情報を掲載しています。

本サイトは、厚生労働省と文部科学省の協力のもと、国立障害者リハビリテーションセンター（発達障害情報・支援センター）と国立特別支援教育総合研究所（発達障害教育推進センター）で共同運用しています。

中学校卒業後の進路に関する企画

昨年好評だった勉強会と恒例の人気企画「報告懇談会」です。
中学生のみなさん、そして小学生のみなさんも、参加ください。
そして高校生のみなさん、ご自身の経験を後輩にお話してください。お願いします。

昨年もわかりやすいと好評でした！

高校入試制度の勉強会

日時：6月30日（日）

13:30~16:00

会場：名古屋市瑞穂生涯学習センター

講師：首藤 貴子 先生（愛知産業大学短期大学）

勉強が苦手でも、「不登校」でも、障がいがあっても、
家計が苦しくても、日本語に不安があっても、中退し
ていても、進路は豊富な選択肢があります。

今回、進学先の種類と特徴、入試制度について学びま
す。

全日制に限らず、定時制、通信制、特別支援学校高等
部、専修学校、広域通信制高校など様々な進学先の特
徴などについても伺います。

※昨年の内容と重複します。一部今年度の内容が盛り
込まれます。

参加費 正会員無料 会員外 1000円

定員 30名

申し込みは、右のQRコードから



毎年恒例、人気の企画です！

「中学校卒業後の進路」

報告懇談会

日時：8月4日（日）

13:30~16:00

会場：名古屋市瑞穂生涯学習センター

義務教育終了後の進路にはどんなところがあるの
か？ いわゆる「高校」もいくつかの種類があります。
高校に限らず進路先それぞれの特徴や様子は？など
先輩の保護者から、進路選択経験や学校の様子をお聞
きして交流します。

親の会ならではの話を聞く事ができます。

専門学校・高等特別支援学校・通信制高校に進まれた
高校生の保護者4名のお話を伺う予定です。

（お父さん2名からもお話ししていただきます。）

定員 20名（かたつむり正会員限定）

参加費 無料

申し込みは、QRコードから申し込み

フォームを開き、入力してください。



【小中学生遊びの会 報告】

5月11日（土）に愛知牧場に出かけました。小学生～高校生の親子15名が参加、お父さんも複数名参加されました。みんなでトラクター観覧車に乗り、広い牧場をのんびり一周した後、巨大迷路やトランポリン、動物との触れ合い、餌やりや乗馬体験などを楽しみました。トランポリンや巨大迷路が気に入って再チャレンジしたり（巨大迷路は1回目9分、2回目は4分でクリアしました）、どうぶつ広場のヤクシカのジジちゃんが可愛くて「家で鹿を飼いた～い！」という女の子も…（笑）牧場特製のソフトクリームも美味しかったね！

子ども達のパワー全開！目いっぱい楽しんで子ども達の笑顔が弾けていました。（子ども達が遊んでいる間、親同士のおしゃべりも弾みました！）



（お馬さんにも乗りました）

おしゃべり会

「おしゃべり会」は親の会の基本的、中心的な活動です。

様々な形態でおしゃべり会（交流・懇談・相談）を開催しています。

リアル対面開催はご自由にご参加ください。ただし正会員でない方は事前に連絡をお願いします。

新しく参加された方からは、「私の気持ちを本当にわかってもらえた。」「しっかりと聞いてもらえて初めて本音も話すことができた。」などの感想をいただいています。話すことから、共感して、学びを深めて気づきを広げる。そして何よりもつながりを作っていく。そうして安心と希望を得ていくことを目指しています。話された内容の秘密厳守です。聞くだけでも大丈夫です。

*正会員の方はご自由に参加してください。参加費無料。

その他の方は事前に事務局までご連絡をお願いします。また参加費500円をお願いします。

全体おしゃべり会

2ヶ月に1回（奇数月）に開催しています。

初めの1時間程度は作業をしながらとなります。

毎回、新しい方が来られてお話を聞いたり会の活動のことを話し合っています。

日時：7月28日（日）

13：30～16：00

会場：名古屋市瑞穂生涯学習センター

オンラインでも開きます

日時：8月31日（土）

13：30～15：00（時間内の出入り自由です）

会場：オンライン会議システム ZOOM 使用

希望者に参加のための ID などをお伝えします。

事前申し込みをお願いします。

申し込みは →



何でも相談室

夜の時間のおしゃべり会です。

日中は仕事であったり日曜日も仕事や家族のことで参加しづらい人のために夜の時間でやっています。

遅れての参加でも大丈夫です。かたつむりの仲間でないと話せないようなことも色々話になることがあります。ペアレントメンターが参加しており親身な相談、話し合いをしています。

日時：6月28日（金）・8月30日（金） 17：00～

会場：名古屋市瑞穂生涯学習センター

4月26日の時は7名が参加しました。

初めて参加された18歳の女の子のお母さんの話を主に聞きました。自己管理、金銭管理、仕事への取り組み方、友人関係など多岐に渡り、悩みは尽きませんがたくさん話していただいてみんなが受け止めて励まし合いました。

「これからも何が起こるかはわかりませんが、かたつむりは必ず何かのお力になれるので一緒に頑張りましょう」とお伝えしました。



地域おしゃべり会

かたつむりの活動のほとんどは名古屋市内で行っています。
そこで名古屋市外（尾張西部と西三河）でのおしゃべり会を企画してきています。
他地域でもできたらいいと思っています。 事前の参加申し込みは不要ですので直接会場にお越しください。

尾張西部地域おしゃべり会

4月27日に第10回目を開催しました。参加者3人と見学者1名でした。
進路先が決まったという方から状況などを色々伺いました。いろんな課題も浮かびました。
・高校が愛知県内にないと私学助成を受けられない。
・サポート校では通学定期が使えないことがある。
こうした進学先を選択するケースは増えています。助成や運賃割引など求めていくことも大切ですね。
その他、子どもに「性」をどう教えるかなどたくさんのお話で大変盛り上がりしました。

次回は

日時：8月3日（土）13：30～15：30

会場：一宮市市民活動支援センター会議室
一宮市栄3丁目1番2号 i-ビル3階（JR尾張一宮、名鉄一宮駅 駅ビル内）

岡崎地域おしゃべり会

日時：6月2日（日）13：30～15：30

会場：岡崎市西部地域交流センターやはぎかん
岡崎市矢作町尊所45番地1（名鉄名古屋本線「矢作橋」下車 北へ徒歩2分）

青年グループ ランチおしゃべり会

昨年、好評だったレストランでの食事会企画です。
刈谷駅近くの中国料理「豊永」。周りを気にすることなく、ゆったりおしゃべりできるお店です。
ちょっとオシャレをして、美味しいランチへ！（ランチのメニューは、下記「豊永」ウェブサイトで）
自分へのご褒美として親だけ参加、親子で参加、どちらもOK！ 青年部以外の方の参加も大歓迎です。

日時：6月16日（日）11：00～14：00

場所：中国料理 豊永（シャインズ内） 刈谷市東陽町2丁目18番地
https://www.shines-shokki.jp/?page_id=208

参加費はありません。各自でご自分の分をご負担ください。
申し込みは →



田中康夫先生の講演を視聴して話し合う会

(録画配信の視聴と交流会)

全国 LD 親の会の公開フォーラムが 6 月 16 日に札幌で開催されます。基調講演が田中康夫先生です。

「成年期以降をどう生きるか、そして見守り支えるか ～本人と家族の想いを考える～」

講師：田中康夫 先生（児童精神科医・こころとそだちのクリニックむすびめ 院長）

この講演の録画配信がされますので、一緒に視聴して感想や疑問などを話し合う会を企画しました。一人で視聴することもできますが、一緒に聞いて話し合うことでより気づきが広がり学びを深めることができます。6.16 に聞くことができなかった方、録画配信を視聴することが難しい方もお越しください。もちろん、一度聞いた方も再度聞いて話し合うことでより一層学びを深めましょう。

日時：6月22（土） 13:30～16:00

会場：名古屋市瑞穂生涯学習センター

定員：20名

参加費：かたつむり正会員 無料 正会員でない方 500円



消費生活の勉強会

今年も繰り返し学びましょう！

かしこい消費者になろう！

「悪質商法の被害にあわないために」

日時：8月24日（土）13:30-16:00

会場：名古屋市瑞穂生涯学習センター

昨年度好評だった消費生活の勉強会です。手口も年々巧妙になっています。繰り返し学ぶことが大切です。消費トラブルは思いがけずやってきます。そこで、消費生活センターにて日々トラブルに対応しておられる相談員さんから、具体的な事例をご紹介いただきながら、おはなしをうかがいます。「そんなつもりはなかったのに…」ということにならないように、一緒に勉強しましょう。

ご本人と一緒に親子で参加されることをおすすめします！

講師 名古屋市消費生活センター 相談員さん

定員 30名

参加費 正会員無料 正会員以外 1家族 500円

申し込みは右のQRコードからお願いします。 ⇨



小学生親子の体験ワークショップ

セミナーが好評でしたので、今年は体験ワークショップを企画しました。
講義を聞くだけでなく、実際に体を動かし体験します。親子で参加してください。

体験ワークショップ 「楽しく遊んで、読み書きの困難さを減らそう！」

2022・2023 年度に開催した「読み書きに困難を抱える子どもの指導」をテーマとした勉強会では、公文先生から子ども達の認知や感覚を育む運動やビジョントレーニングなど、遊びながら楽しく取り組める工夫をたくさん教えていただきました。

今回は、少しでも読み書きの困難さが軽減されることを願って、「意識して見る、目的をもって遊ぶ」ことを企画しました。親子で楽しく遊びましょう。

講師： 公文美貴 先生

(小学校教諭・特別支援学級担当／特別支援教育士・公認心理師)

日時： 2024年7月27日(土) 13:30～16:00

会場： 名古屋市瑞穂生涯学習センター

- 参加対象： 小学生の親子（正会員限定）
定員： 親子10組 参加費： 無料
服装： 動きやすい服（親子ともに体を動かします。）
持ち物： ラップの芯（一人1本、親子で2本）・トランプ・鉛筆・消しゴム・ポケットティッシュ
申し込みは右のQRコードからお願いします。 ⇒



医師会・小児科医会が下のポスターを出しています。考えていきたいことです。

(予告) 中高年グループの交流会

中高年グループの交流会を9月に計画します。

日時：9月15日(日)

- * 詳細は次号でお知らせします。
ビアガーデンを検討しています。

(予告) 就労支援制度などの勉強会

障害者の就労支援制度・サービスについての勉強会を開催します。

日時：9月29日(日) 13:30-16:00

- * 詳細は次号でお知らせします。



あそびクラブ

- 4月7日は16名の参加でした。

長い間仕事のことで不満を抱えて悩んできたW君が、「自分で考えながら取り組むと楽しい！」と笑顔で話してくれました。自分のやり方次第でうまくいくとわかったようです。突然の大きな変化に驚きながらも安心しました。何年もかかりましたが、いつかこんな日が来ると思うと本当に嬉しいです。みんなでW君をほめ、喜び合いました。

- 5月5日は、連休の最中にも関わらず15名が参加しました。

はじめに5月19日に予定している「お出かけ企画」の相談をしました。その後はみんなから近況など報告をしていただきました。試採用から正式採用となったと喜んでの報告、アパートの隣室の音が気になって色々調べて工夫した話、連休で本人にとっては甥や姪が来て遊んだ話などたくさんしてくれました。変化と安定そして変わらない課題を感じ取ることができます。また会社の勤続表彰を断ったという話もありました。「もったいない」という声も出ましたが本人にとってはもらえない理由があるのでしょうか。

親からは、お金の管理のことや親亡き後のことなども話されました。

また総会の時のテーマ別分散会の感想なども出し合いました。

- 5月19日は、「春のお出かけ企画」としてなばなの里に出かけました。

報告は次号に掲載します。



次回は

日時： 6月2日（日）、7月7日（日）、8月4日（日） 13:30～16:30

会場： 名古屋市瑞穂生涯学習センター

- 8月に調理企画「手抜きクッキング」を準備中です。



巣立ちの会

親亡き後のことを考える自主グループです。

親亡き後に関して必要なことや基本的な考え、制度やお金のことなどの勉強を重ねながらメンバーの交流を行ってきています。皆さん少しずつ何かを始められる方が増えてきています。そうした経験とその報告などもたいへん参考になっています。

日時： 6月23日（日） 13:30～16:00

会場： 名古屋市瑞穂生涯学習センター

参加者の様々な悩みや実践の交流を行います。

今回は、「福祉信託」の紹介もさせていただきます。

定員：20名 （かたつむり正会員限定）



ハッピークッキング



4月13日(土) 6家族12名の参加でした。新メンバーの青年の参加もあり、中学生～30代までの男子3名・女子4名が参加しました。初参加の青年も昔馴染みのメンバーと「久しぶり～！」と思い出話に花が咲きました。グループに分かれて近くのスーパーに買い物に出かけ、「お好み焼き粉はどこ?」「お肉はどれにする?」と品定め…、それぞれ好きな具材(餅・チーズ・イカフライ等)を買って、お好み焼きを作りました。参加者から「お好み焼きをひっくり返す時に失敗しちゃったけど、美味しかった」「チーズを入れたら、とろ～つとして美味しかった」「本人は一人暮らしを目指しているの、これからも料理にチャレンジしてほしいなあ(母)」との声が聞かれました。

次回は

冷やし中華を作ります。初めて参加される方・男子も大歓迎です。



日時： 6月9日(日) 13:00～16:30

会場： 名古屋市瑞穂生涯学習センター 料理室

定員： 中学生以上12組(男女問いません)なるべく親子で参加して下さい。

参加費： 材料代実費 買い物することから行います。1000円程度用意してください。

持ち物： エプロン・ふきん・密封容器・マイバッグなど

※参加希望の方は事務局までご連絡ください。 偶数月に開催しています。次回は8月開催予定です。



日本LD学会 第33回大会 が開かれます。

開催日：10月19日(土)・20日(日)

会場：神戸国際会議場・展示場+オンデマンド

詳細は以下をご覧ください。

<https://conference.wdc-jp.com/jald/2024/>

【役員会報告】

5月12日(日)に第1回役員会を役員10名の参加で開催しました。

主な内容は、以下の通りです。

1. 総会の振り返り
2. 役員会の運営について確認
3. 前回役員会以降の活動振り返りと今後の計画の相談
4. 広報と会報248号について確認
5. その他

【かたつむりメール通信】

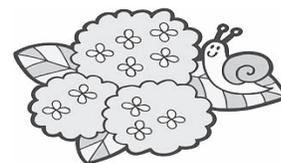
メールアドレスを登録された希望者に「メール通信」をお届けしています。

希望者、または登録したけど届いていない方は事務局までメールください。

info@katatumuri-aichi.org



活動カレンダー



月日	内容
4月 7日 (日)	あそびクラブ月例会
4月13日 (土)	ハッピークッキング
4月21日 (日)	かたつむり第41回総会
4月26日 (金)	何でも相談室
4月27日 (土)	尾張西部地域おしゃべり会
5月 5日 (日)	あそびクラブ月例会
5月11日 (土)	小中学生遊びの会 (愛知牧場)
5月12日 (日)	新入会員オリエンテーション
	かたつむり第1回役員会
5月18日 (土)	オンラインおしゃべり会 (web)
5月19日 (日)	あそびクラブ お出かけ会
5月26日 (日)	会報248号発行
	全体おしゃべり会

月日	内容
6月 2日 (日)	あそびクラブ月例会
	岡崎地域おしゃべり会
6月 9日 (日)	ハッピークッキング
6月15日 (土)	全国LD親の会 総会
6月16日 (日)	青年G ランチおしゃべり会
	全国LD親の会 公開フォーラム
6月22日 (土)	講演の視聴と交流会
6月23日 (日)	「巣立ちの会」
6月28日 (金)	何でも相談室
6月30日 (日)	勉強会 (高校入試制度)
7月 7日 (日)	あそびクラブ月例会
7月14日 (日)	かたつむり第2回役員会
7月27日 (土)	小学生 体験ワークショップ
7月28日 (日)	会報248号発行
	全体おしゃべり会
8月 3日 (土)	尾張西部地域おしゃべり会
8月 4日 (日)	あそびクラブ月例会
	中学卒業後の進路報告懇談会
8月24日 (土)	消費生活の勉強会
8月30日 (金)	何でも相談室
8月31日 (土)	オンラインおしゃべり会 (web)

編集後記・徒然

昔読んだ本に「個体発生は系統発生を繰り返す」とありました。受精後誕生までの一〇ヶ月ほどの間にヒトが数億年かけて進化してきた過程を繰り返してヒトになっているということですね。ある時期にはえらや尻尾のようなものがあつたりします。しかも「生理的早産」(ポルトマン)です。そして脳と体は相互に関係し合っています。そうしたことを無視した発達は無いのではないかと、子どもにとって体を使った「遊び」は単に遊びではなく成長発達の要となるものであると思います。そういう視点からの活動もどんどん進めていけたらいいなと考えています。ところで皆さん、親子ともに「土踏まず」はできているでしょうか？

(代表 牛丸)



たくさんの企画があります。
ぜひ参加を！

お問い合わせは、事務局までメールしてください。

info@katatumuri-aichi.org

メールを送る ⇒

メールの件名に「〇〇〇の問い合わせ」など明記して

本文に、①お名前 ②かたつむり会員かどうか ③子どもの年齢(学年)を

必ず記載してください。返事までには1週間程度の日数をいただくことがあります。

